

第7章 長宮遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

長宮遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ（現在は排水溝として利用）、幅100mほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500m南側には福岡江川が流れ、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北300m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畠が残っている。

遺跡の西方には長宮氷川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国期に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に繩文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安

時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中・近世の松山遺跡が隣接する。1977年の保育園建設に伴う緊急調査で中世の屋敷地と思われる遺構群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2007年11月現在69ヶ所で調査を行なっている。主たる時代と遺構は縄文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りに飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮氷川神社参道に關係のある溝跡などである。

II 長宮遺跡第27地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2007年4月4日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置し、西側に隣接する8次調査区では中世から近



第17図 長宮遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

世の屋敷地とみられる遺構群と遺物が出土しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。試掘調査は同年5月30・31日に行なった。現地表面下約90cmにおいて時期不明の溝

を確認したが、工事による掘削は現地表面下35cmであり、30cm以上の保護層が設けられるため、工事立会いの措置をとることとし、写真撮影・構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

第15表 長宮遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (m ²)	調査原因	確認された 遺構と遺物	所収 報告書	地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (m ²)	調査原因	確認された 遺構と遺物	所収 報告書
1次	長宮2-1-23	1977.10.3 ~30	1,000	保育園	溝3、土坑48、柱穴	川崎遺跡(第3 次)・長宮遺跡	1996試 (1)	長宮1-2-16	(1996.7.12 ~18)	349	宅地造成	なし	埋(19)
2次	長宮2-1-27	1978.4.25 ~5.15	235	民間宅地	溝2、土坑1、石磨白、板碑、 砥石、古鏡、陶器、馬骨	埋(I)	1996試 (2)	中丸2-2-9 他3筆	(1996.11.7)	568	宅地造成	なし	埋(19)
3次	長宮2-5-11	1978.7.24 ~30	111	民間宅地	土坑1	埋(I)	1996試 (3)	長宮1-2-4	(1997.1.14 ~21)	794	共同住宅	古墳～奈良住居1	埋(19)
4次	長宮1-1-14	1978.10.6 ~9	37		住居跡1、土師器、須 恵器、鉄製品	埋(I)	1996試 (4)	長宮2-2-4	(1997.2.24)	205	社務所改 築	なし	8年教
5次	長宮2-5-2	1979.4.16 ~20	110		縄文前期住居1、縄文 土器片	埋(II)(IV)	1997試 (1)	長宮2-3-3	(1997.4.8 ~9)	611	農地天地 返し	溝1(時期不明)	埋(20)
6次	中丸1-4-13	1980.4.21 ~30	515		遺構なし、中世以降陶 器片	埋(III)	1997試 (2)	長宮2-1-2	(1997.4.9 ~11)	289	個人住宅	土坑1(時期不明)	埋(20)
7次	中丸1-3-6	1980.5.13 ~31	869		溝、井戸跡、縄文土 器、中世以降陶器片	埋(III)	1997試 (3)	長宮 1-2-36,37	(1997.6.4 ~5)	423	駐車場	溝1	埋(20)
8次	長宮2-1-10~ 13	1980.9.8 ~10.8	1,900	宅地造成	中世溝、井戸、土括、板碑、 砥石、陶磁器、古鏡、馬齒	遺調1集	1997試 (4)	西原2-5-6	(1997.8.15 ~21)	753	駐車場	中近世竪穴状遺構1	埋(20)
9次	長宮1-4-10	1980.9.21 ~30	200		遺構なし、中世以降 陶器片	埋(III)	1998試	中丸1-2-4	(1998.11.24 ~27)	1,014	宅地造成	なし	埋(21)
10次	長宮2-3-4	1980.12.5 ~15	485		溝、土括他、縄文前期土器、 石器、中世以降古鏡・陶器	埋(III)	1999試	中丸1-3-12	(1999.11.8 ~16)	98	個人住宅	溝1、縄文前期集石2	埋(22)
11次	長宮2-2-10	1980.12.16 ~22	117		溝、縄文土器片、中世 以降陶器	埋(III)	2000試 (1)	中丸1-4-7	(2000.7.4 ~11)	932	宅地造成 (土地分譲)	縄文前期(関山期)住 居跡5、土坑13	埋(23)
12次	長宮1-2-7	1981.5.26 ~30	160	個人住宅	溝1、中世陶器片、縄 文土器片	埋(IV)	2000試 (2)	西原2-4-8,10	(2000.7.17 ~24)	1,081	宅地造成 (土地分譲)	なし	埋(23)
13次	長宮1-2-13	1981.6.3 ~11	251	個人住宅	遺構なし、中世陶器 片	埋(IV)	2000試 (3)	長宮2-1-17	(2000.8.21 ~23)	687	共同住宅	なし	埋(23)
1982試	長宮1-2-12	(?)	1,000	歴史民俗 資料館	溝2	57年教 59年度報告?	2000試 (4)	長宮 1-3-3A,4A	(2001.1.17 ~23)	1,119	宅地造成 (土地分譲)	近世以降土坑1	埋(23)
14次	長宮2-2-1	1985.9.24 ~27	156	個人住宅	溝1	埋(VII)	23次	中丸1-4-7	2001.7.18 ~26	137	個人住宅	土坑6(縄文早期後葉1、 縄文前期4、近世以降1)	埋(24)
15次	西原2-5-8	1985.10.22 ~31	116	個人住宅	なし	埋(VII)	2001試 (1)	長宮2-1-3	(2001.4.20 ~24)	330	個人住宅	なし	埋(24)
1985試	長宮1-2-11	(1986.3.6 ~15)	400	学童保育	溝2	60年教	2001試 (2)	西原2-4-7	(2001.5.25)	634	共同住宅	なし	埋(24)
16次	長宮1-4-7	1986.6.9 ~17	173	個人住宅	縄文土器片	埋(IX)	2001試 (3)	中丸1-1-3	(2001.8.7 ~24)	513	共同住宅	道路状遺構1、縄文前 期土坑1	埋(24)
17次	中丸1-3-11	1987.6.19 ~30	504	個人住宅	縄文前期土器散布	埋(X)	2001試 (4)	長宮2-8-6	(2001.11.6)	130	個人住宅	なし	13年教
1988試	長宮1-3-8	(1988.9.13 ~16)	657	住宅建設	なし	埋(11)	2002試 (1)	長宮1-3-2~5	(2002.6.5 ~11)	3,536	宅地造成 (土地分譲)	住居跡2【盛土保存】	埋(25)
1989試 (1)	長宮1-3-9	(9.20~30)	448	住宅建設	なし	埋(12)	2002試 (2)	長宮1-4-3	(2002.6.20 ~7.2)	575	確認調査	住居跡2、溝2	埋(25)
1989試 (2)	長宮2-5-19	(1989.11.14 ~24)	1,778	住宅建設	なし	埋(12)	2002試 (3)	中丸1-1-5	(2002.9.3 ~11)	622	宅地造成 (土地分譲)	道路状遺構1	埋(25)
1990試	長宮2-5-4	(1990.11.27 ~30)	919	共同住宅	なし	埋(13)	2002試 (4)	長宮1-3-31	(2002.9.20 ~25)	362	地区計画 道路	溝1	埋(25)
18次	長宮2-5-3	1992.10.6 ~12.2	925	共同住宅	縄文住居跡1、中近世 土坑2、溝5	埋(15)	24次	長宮1-4-3	2003.1.30 ~2.14	72	個人住宅	住居跡2	14年教
19次	長宮 1-2-21,35	1993.12.17 ~1.22	467	駐車場	古墳末期住居跡1	埋(15)	2002試 (5)	長宮2-5-6	(2003.3.10 ~12)	827	宅地造成	住居跡1【盛土保存】	14年教
1993試	長宮2-4-2の 一部	(1994.2.10 ~28)	1,502	共同住宅	溝2、土坑1、中世後期 板碑	5年教	2003試 (1)	長宮 2-5-30,32	(2003.9.16)	197	区画道路	なし	埋(26)
1994試	西原2-5-1	(1994.7.25 ~8.2)	314	心身障害者 デイケア施設	断面函形溝1	埋(17)	2003試 (2)	長宮2-4-7	(2003.12.16 ~18)	1,123	宅地造成	井戸跡1	埋(26)
20次	長宮2-1-22の 一部	1995.4.10 ~5.9	170	個人住宅	中世溝4	埋(18)	2004試 (1)	中丸1-1-11	(2004.11.26)	488	宅地造成	なし	埋(27)
21次	長宮 2-1-63,65	(1995.6.19 ~8.8)	361	個人住宅	中近世溝1、井戸7	埋(18)	2004試 (2)	長宮1-2-15	(2004.12.7 ~9)	466	農地改良	なし	埋(27)
1995試 (1)	長宮2-1-20外	(1995.8.9 ~28)	421	市道敷設	なし	埋(18)	25	中丸1-4-8	(2007.2.15 ~16)	1,161	個人住宅	縄文遺構検出	市内3
1995試 (2)	上ノ原3-1-6 外4筆	(1995.10.4 ~12)	1,528	共同住宅	溝1	埋(18)	26	西原2-5-2の 一部	(2007.3.28)	594	個人住宅		市内3
1995試 (3)	長宮2-1-60	(1995.10.23 ~25)	269	駐車場	中近世溝1、井戸4	埋(18)	27	長宮2-1-4	(2007.5.30 ~31)	175	個人住宅		市内4
22次	長宮2-1-60	1995.10.27 ~11.9	269	駐車場	中近世井戸跡4、溝1、陶 器、板碑破片、かわらけ	遺調6集	28	長宮2-1-8	(2007.5.31~65) 2007.6.6~22	188	個人住宅		市内4
1995試 (4)	長宮1-3-13	(1995.12.12 ~25)	120	駐車場	なし	埋(18)	工事 立会い	西原2-5-31	2007.10.15	120	個人住宅	保護層有り、遺構遺 物なし	市内4
							29	長宮2-4-6の 一部	(2007.11.20 ~12.5)	618	共同住宅		市内4

*埋 = 埋蔵文化財の調査、遺調 = 遺跡調査会報告書、教 = 教育要覧、市内 = 市内遺跡群

III 長宮遺跡第28地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2007年5月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置し、西側に隣接する8次調査区では中世から近世の遺構群と遺物が出土しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は同年5月31日から6月5日まで行なった。残土置き場の関係から調査区を南北に分け、初めに北側半分を重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった。北側調査区の試掘調査で、井戸・土坑・ピットなどの遺構が確認されたため、申請者と協議の結果、本調査を行なうこととした。

本調査は翌日6月6日から22日まで、調査区を南北に分けて行ない、井戸5基、土坑10基、ピット13基を検出、陶磁器などの遺物多数が出土した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、本調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

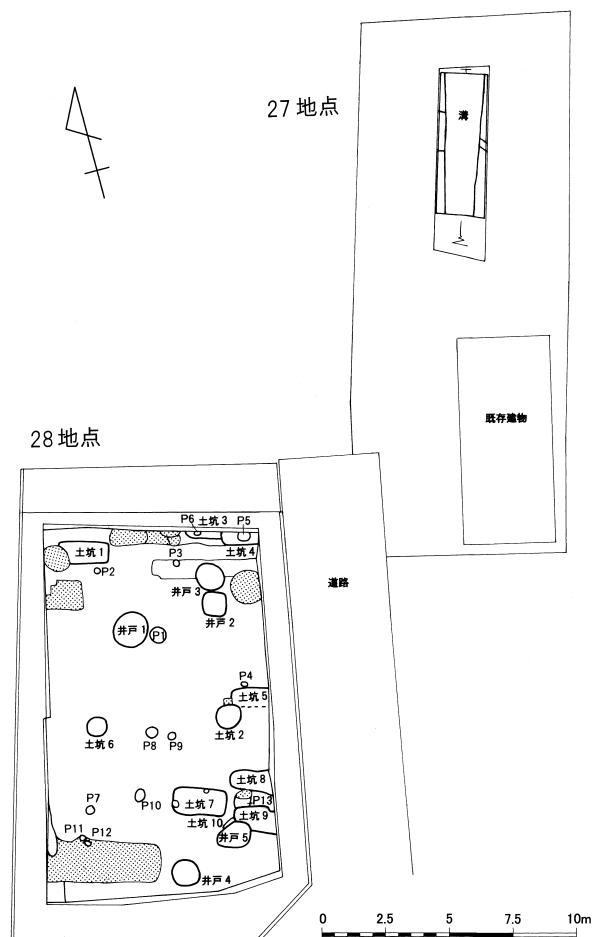
①土坑・ピット

土坑10基、ピット13基を検出したが、土層の観察から全て中・近世以降の時期とみられる。

第16表 長宮遺跡第28地点土坑・ピット一覧表

(単位cm)

遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ
土坑1	長方形	(203)×89	(152)×64	87.3
土坑2	円形	103×88	30×30	64.6
土坑3	不明	(150×25)	(96×17)	19.6
土坑4	不明	(137×46)	(128×40)	48
土坑5	不明	(146×92)	(130×93)	14.1
土坑6	円形	87×76	65×63	21.3
土坑7	長方形	214×111	186×86	22.5
土坑8	長方形	(166)×87	(158)×75	16.7
土坑9	長方形	(168)×102	(156)×87	24.2
土坑10	不明	68×(18)	65×(8)	22.0
P1	円形	58×56	36×33	62.4
P2	円形	23×17	8×4	56
P3	楕円形	(27)×20	9×6	45.8
P4	楕円形	31×20	10×2	47.7
P5	不明	49×(30)	(19)×33	42.2
P6	不明	(18)×25	12×9	44.8
P7	方形	38×35	26×24	28.8
P8	円形	51×46	35×21	26
P9	円形	28×26	17×5	31.8
P10	楕円形	58×35	25×20	34.8
P11	円形	(24)×20	11×7	32.5
P12	円形	25×23	14×7	21.9
P13	不明	58×(-)	45×(-)	13.7



第18図 長宮遺跡第27・28地点遺構配置図 (1/300)

②井戸

井戸は5基検出し、全て素掘りである。井戸1・2には足掛け穴があり、井戸5は上部が舌状に開く。

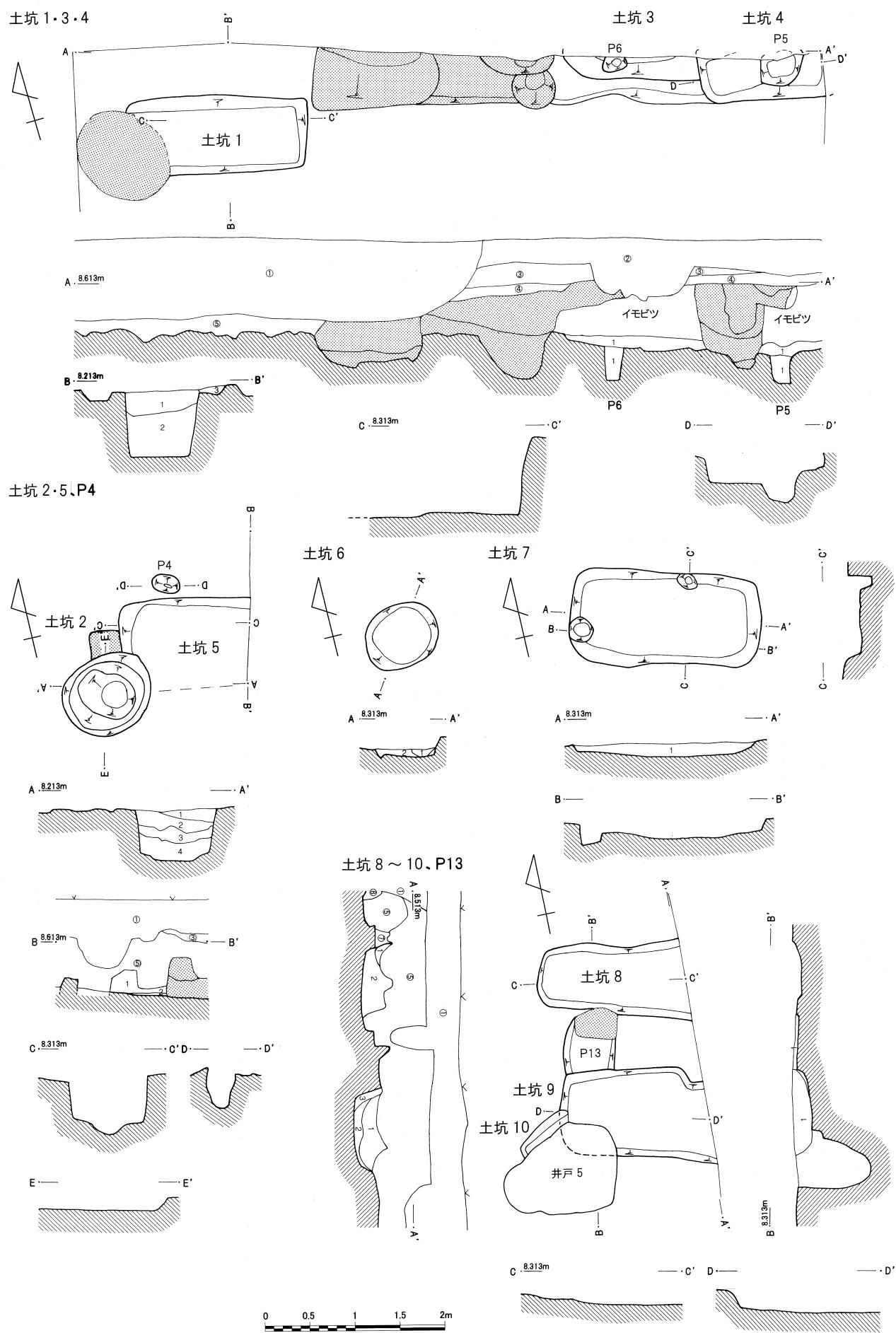
第17表 長宮遺跡第28地点井戸一覧表

(単位cm)

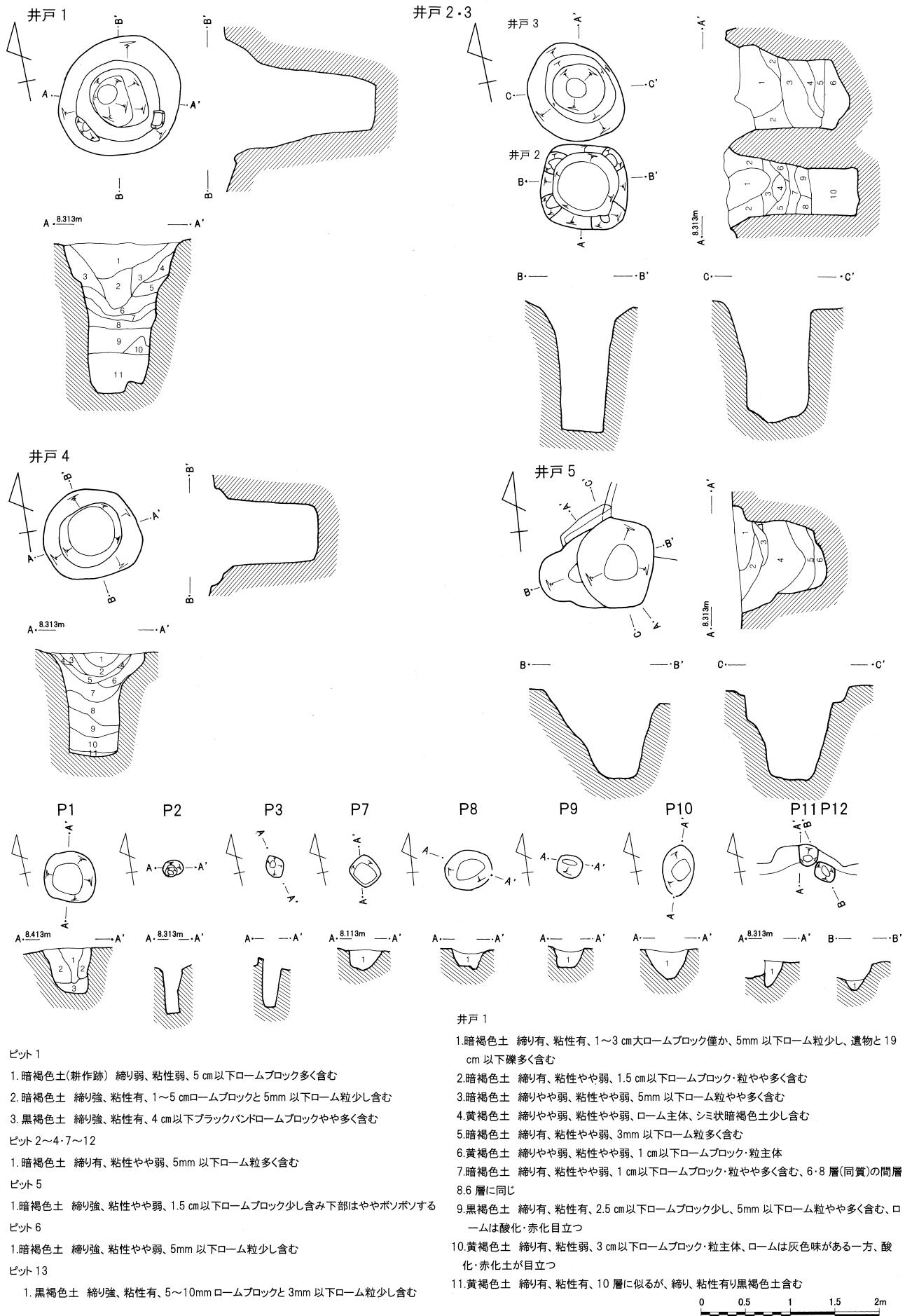
遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
井戸1	円形	145×132	55×40	175	足掛け穴2
井戸2	円形	98×95	58×55	157	足掛け穴4
井戸3	円形	120×100	59×58	140	
井戸4	円形	108×103	53×52	124	
井戸5	不整形	134×103	40×40	109	舌状に開く

③出土遺物

井戸1・3からやまとまった遺物が出土している。近世以降の陶磁器などが含まれないことから、15世紀後半以降の時期と考えられる。その他は遺構外出土のもので、第18表長宮遺跡第28地点出土遺物観察表のとおりである。



第19図 長宮遺跡第28地点土坑・ピット① (1/60)



第20図 長宮遺跡第28地点井戸・ピット② (1/60)

長宮遺跡遺構土層説明

井戸 2

1. 暗褐色土 繰りやや弱、粘性やや弱、2 cm以下ロームブロック少し 5mm 以下ローム粒やや多く含む
2. 黄褐色土 繰り有、粘性やや弱、ローム主体で 2 cm以下ロームブロック少し含む
3. 暗褐色土 繰り有、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含みシミ状黒褐色土含む
4. 暗褐色土 繰り有、粘性やや弱、5mm 以下ローム粒多く含む 3 層に比し色調暗く繰り弱め
5. 暗黄褐色土 繰り有、粘性有、ローム土・粒主体、3 cm以下ロームブロック少し含む全体に灰色気味
6. 黒褐色土 繰り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く含む
7. 黑褐色土 繰りやや弱、粘性やや弱、5mm 以下ローム粒やや多く含む
8. 黄褐色土 繰り有、粘性やや弱、5mm 以下ローム粒主体、酸化・赤化目立つ
9. 黑褐色土 繰り有、粘性有、2 cm以下ロームブロック 5mm 以下ローム粒少し含む
10. 黄褐色土 繰りやや弱、粘性有、ローム粒主体 3 cm以下ロームブロック少し含む、酸化・茶褐色化目立つ

井戸 3

1. 黄褐色土 繰り強、粘性有、8 cm以下ロームブロック主体
2. 暗褐色土 繰り強、粘性有、黃灰色味強い、7 cm以下ロームブロックやや多く含む
3. 黑褐色土 繰り強、粘性有、5 cm大ロームブロック少し含む
4. 暗褐色土 繰りやや弱、粘性やや弱、5 cm以下ロームブロック多く含む 2 層に似る
5. 黑褐色土 繰り有、粘性有、混入物少ない、細かなローム粒僅かに含む
6. 黑褐色土 繰り有、粘性有、黄褐色・黃灰色のソフトロームブロック主体の薄い層が上部、下部は 4 cm以下ロームブロック、2mm 以下ローム粒少し含む、擂鉢出土

井戸 4

1. 暗黄褐色土 繰り強、粘性有、暗黄褐色ロームブロック主体で緻密な堆積
2. 黑褐色土 繰り有、粘性有、最大 8 cmのロームブロック多く、5mm 以下ローム粒やや多く含む
3. 黑褐色土 繰り有、粘性有、5 mm 大ロームブロックと 2mm 以下ローム粒少し含む
4. 暗黄褐色土 繰り有、粘性有、ソフトローム土主体
5. 暗褐色土 繰り有、粘性有、全体に黒色味があり、5mm 以下ローム粒やや多く含む
6. 黄褐色土 繰りやや弱、粘性やや弱、ローム粒主体、5~10mm ロームブロック少し含む、最下部に褐色土の薄い層を挟む
7. 黑褐色土 繰り有、粘性やや弱、5mm 以下ローム粒やや多く、5~10mm ロームブロック少し含む
8. 黄褐色土 繰り有、粘性やや弱、5mm 以下ローム粒主体 5~20mm ロームブロック・黒褐色土少し含む
9. 黑褐色土 繰り有、粘性有、混入物少く 5mm 大ロームブロック 2mm 以下ローム粒僅かに含む
10. 暗黄褐色土 繰り有、粘性有、明黄褐色ローム粒多く含む、若干酸化が見られる
11. 黑褐色土 繰り有、粘性有、2mm 以下ローム粒僅かに含む

井戸 5

1. 暗褐色土 繰り強、粘性有、5~30mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒やや多く含む、井戸 5 の北にある掘り方の覆土
2. 黑褐色土 繰り強、粘性有、8 cm以下ロームブロック、1mm 以下ローム粒少し含む
3. 黑褐色土ベースにソフト質ローム土主体 繰り有、粘性有、5mm 以下ローム粒主体
4. 黑褐色土 繰り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し 1 cm以下ロームブロック僅かに含む、やや酸化が目立つ 5 層との層理面に 2 cm厚の薄いソフトロームを挟む
5. 黑褐色土 繰りやや弱、粘性有、ソフトローム粒僅かに含む、やや酸化が目立つ
6. 黑褐色土 繰りやや弱、粘性強、2mm 以下ローム粒やや多く含む、やや酸化が目立つ

土坑 1

1. 暗褐色土 繰り有、粘性有、繰り・粘性弱め、3.5 cm以下ロームブロック・粒やや多く含む、全体の色調は歴跡に似て灰色味がある
2. 暗褐色土 繰り有、粘性有、繰り・粘性弱め、4 cm以下ロームブロックやや多く 5mm 以下ローム粒少し含む
3. 暗褐色土(耕作跡) 繰り強、粘性有、2 cm以下ロームブロック多く含む、シミ状黒褐色土少し含む

土坑 2

1. 黒褐色土 繰り強、粘性有、最大 5mm 平均 2mm 以下ローム粒少し酸化土粒少し含む
2. 黑褐色土 繰り強、粘性有、色調明るめの黒褐色土ブロックをシミ状に多く含む、ローム粒含まず酸化土粒少し含む
3. 黑褐色土 繰り強、粘性有、最大 5mm、平均 3mm 以下ローム粒少し含む、3mm 以下赤色酸化土粒を比較的多く含む
4. 暗褐色土 繰り強、粘性有、5mm 以下ローム粒比較的多くブロック化した黒褐色土多く、酸化土少し含み、底に明黄褐色土が薄く堆積

土坑 3

1. 暗褐色土 繰り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む茶褐色味強い

土坑 4

1. 暗褐色土 繰り有、粘性有、茶褐色味があり 5mm 以下ローム粒少し含む

土坑 5

1. 暗褐色土 繰り有、粘性やや弱、4 cm以下ロームブロックやや多く、5mm 以下ローム粒多く含む
2. 黑褐色土ベース 硬化有、2 cm以下ロームブロック・粒多く含む

土坑 6

1. 黑褐色土 繰り有、粘性有、5~15mm ロームブロック少し 2mm 以下ローム粒やや多く含む
2. 暗褐色土 繰り有、粘性有、5~40mm ロームブロックと 2mm 以下ローム粒少し含む

土坑 7

1. 暗褐色土 繰り強、粘性やや弱、5~20mm ロームブロックと 3mm 以下ローム粒多く含む、最下部はやや黑色味がある

土坑 8

1. 暗褐色土 繰り有、粘性有、1~4 cmロームブロック、5mm 以下ローム粒やや多く含む、耕作で搅乱された 2 層土の可能性有り
2. 暗褐色土 繰り有、粘性やや弱、5~30mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒多く含む、5~25mm 黑褐色土ブロック僅かに含む

土坑 9

1. 暗褐色土 繰り有、粘性やや弱、5~40mm ロームブロック 3mm 以下ローム粒多く含む
3. 暗褐色土 繰りやや弱、粘性やや弱、5~40mm ロームブロック多く含む 3mm 以下ローム粒 1 層に比べ少ない

4. 暗褐色土 繰り有、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く含み、ロームブロック含まない

土坑 5

- ① 暗褐色土 繰り有、粘性有、ロームブロック多く、タイル、漆喰様の薄片含む
- ② 暗褐色土 繰り強、粘性有、ロームブロック多く、灰色汁とブロック少し、ビニール含む

③ ローム主体盛土 繰り強、粘性有、10 cm以下礫含む

④ 灰色シルト 繰り強、粘性有、漆喰様の薄片断面が横走する

- ⑤ 暗褐色土・耕作土 繰り有、粘性有、10 cm以下ロームブロックが畝間溝付近に集中、2.5 cm以下ロームブロック少し、3mm 以下ローム粒やや多く、炭化物微量含む

- ⑥ 暗褐色土 繰り強、粘性有、3mm 以下ローム粒少し、5mm 以下焼土・2 cm以下炭化物目立つ

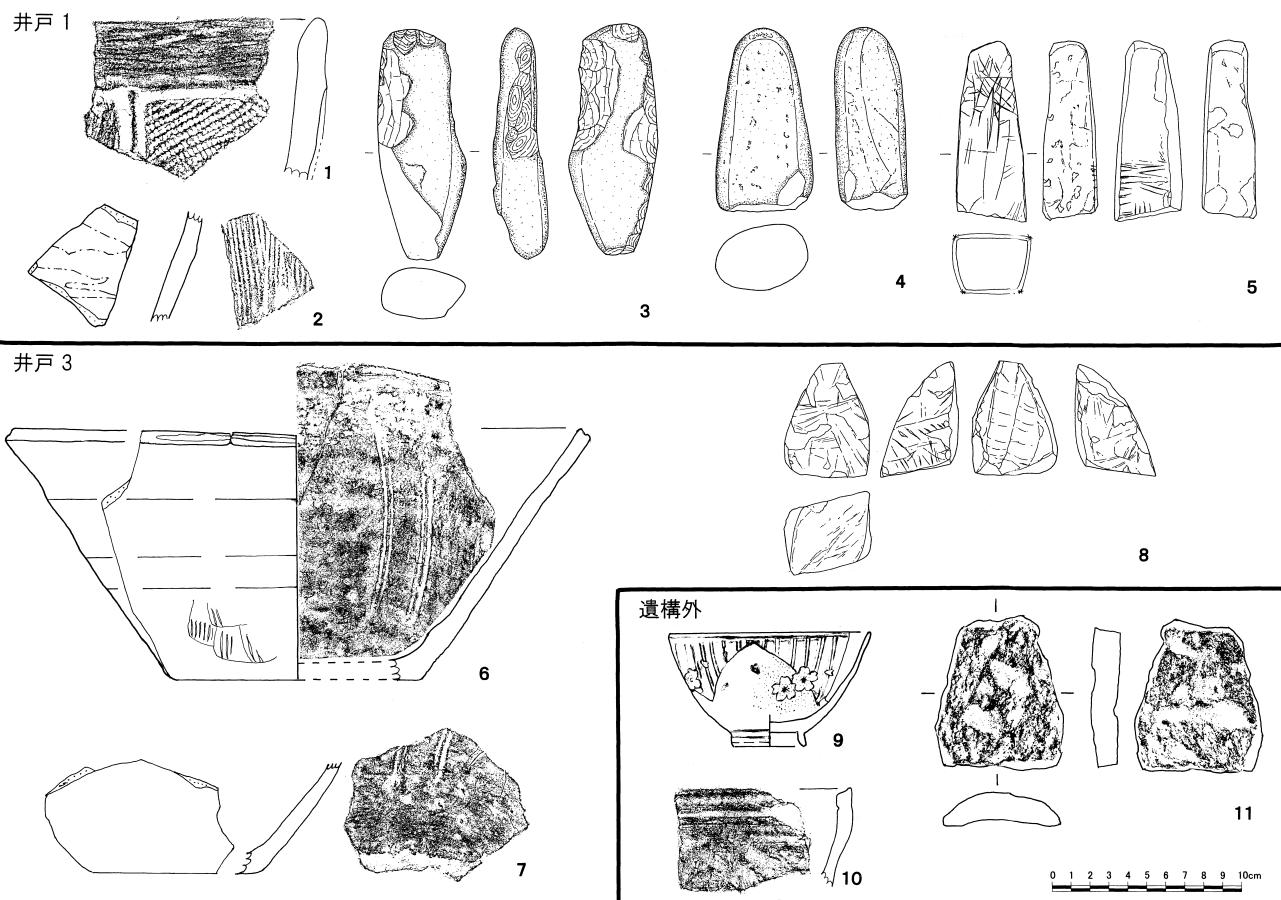
⑦ 繰り有、粘性やや弱、5~40mm ロームブロック主体、最下部に薄く黒褐色土堆積、何らかの掘り込み

- ⑧ 暗褐色土 繰り有、粘性やや弱、5~10mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒多く、5mm 大黒褐色土ブロック少し含む

第18表 長宮遺跡第28地点出土遺物観察表

(単位cm)

No.	出土 遺構名	種別・器種	単位cm・g(括弧付きは残存値)				技法・文様・その他	推定産地	推定年代	備考
			口径・ 長さ	底径・ 幅・内径	高さ・ 厚さ	重量				
1	井戸1	縄文土器/深鉢	-	-	-	-	口唇部無文帯、微隆部の区画間磨り消し、区画内 L R 縄文	-	加曾利 E IV	
2	井戸1	陶器/擂鉢	-	-	-	-	轆轤/鍛釉	瀬戸・美濃	-	細片
3	井戸1	敲石・磨石	12.1	4.5	2.6	208.03	石質:砂岩	-	縄文時代	
4	井戸1	敲石・磨石	9.7	5.0	3.4	289.78	石質:安山岩	-	縄文時代	
5	井戸1	石製品/砥石/中砥	9.6	3.6	2.7	141.31	石質:凝灰岩/線刻複数有	-	中・近世	
6			-	-	-	-				
7	井戸3	瓦質土器/「擂鉢」	(30.9)	(13.0)	(13.2)	-	轆轤/口唇部沈線/擂目2本単位/胎土:白色礫(片岩など)多い	在地系	15世紀後半	底部片、7と同一個体 口縁内のみ摩滅顯著、内外煤付着、6と同一個体
8	井戸3	石製品/砥石/中砥	6.0	4.5	3.6	120.8	石質:凝灰岩/砥面8面以上	-	中・近世	
9	遺構外	磁器/碗/「飯碗」	10.6	4.0	6.0	-	轆轤/ゴム版染付桜花文	-	1920年代以降	表土
10	遺構外	瓦質土器/焙烙	-	-	-	-	口唇部外縁上方へ突出・口縁内沈線	在地系	-	表土、破片
11	遺構外	石製品/板碑/基部破片	(8.1)	(6.7)	(1.4)	137.71	石質:緑色片岩/ノミ痕有	-	中世	表土、破片



第21図 長宮遺跡第28地点出土遺物 (1/4)

IV 長宮遺跡第29地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2007年9月15日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡北部に位置し、西側の隣接地は2003年度に試掘調査を実施し溝と井戸を検出、板碑片や捏鉢等が出土している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を11月20日から12月3日まで実施した。幅約1～1.7mのトレーンチ5本を設定し重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった。一部遺構の確認された部分の本調査を12月4日から行ない、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻して調査を終了した。12月5日機材を撤収して調査を終了した。調査の結果、土坑1基、井戸2基、堀跡1本、溝5本、ピット10基を検出した。なお、旧石器時代の確認調査は行なっていない。

(2) 遺構と遺物

① 土坑・ピット・井戸

土坑1基、井戸2基、堀跡1本、溝5本、ピット10基

を検出、土層の観察から全て古代以降の時期とみられる。

第19表 長宮遺跡第29地点土坑・ピット・井戸一覧表
(単位cm)

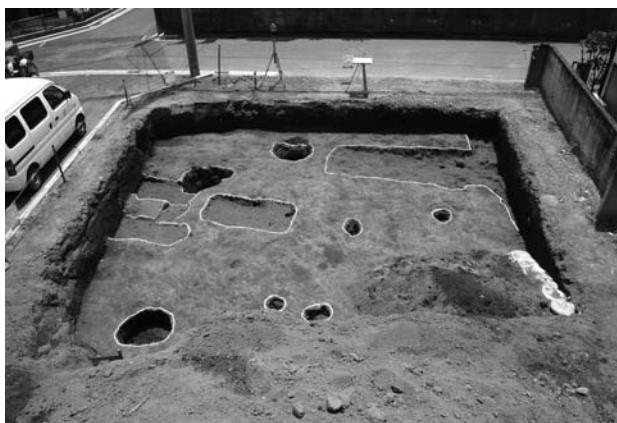
遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
土坑1	不明	(103×29)	(33×9)	34.6	
P 1	不明	(35)×20	(15)×11	24.5	
P 2	円形	29×22	11×6	48	
P 3	円形	31×26	12×9	42	
P 4	円形	39×38	15×12	48.9	
P 5	方形	43×35	16×14	55.5	
P 6	楕円形	55×30	25×7	3.3	
P 7	円形	21×20	9×9	20.9	
P 8	不明	30×(15)	15×8	32.2	
P 9	円形	30×24	11×9	54.4	
P 10	円形	29×27	12×10	51	
井戸1	円形	108×100	74×63	108.3	
井戸2	円形	116×107	45×40	95.4	



長宮遺跡第27地点試掘調査近景



長宮遺跡第27地点試掘調査全景



長宮遺跡第28地点本調査南側全景



長宮遺跡第28地点土坑 1



長宮遺跡第28地点土坑2・7~10、井戸5、ピット8・9・13



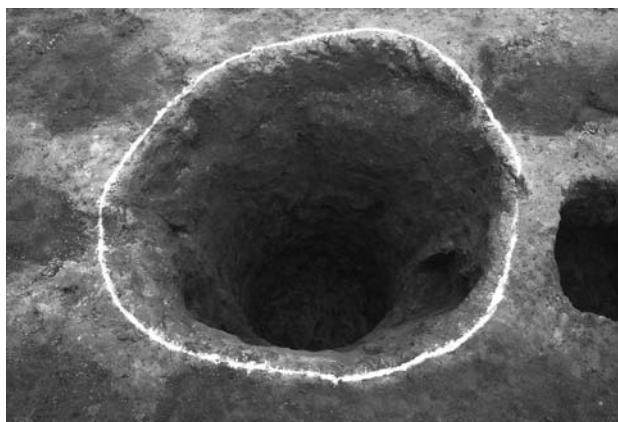
長宮遺跡第28地点土坑7~10、井戸4・5、ピット13



長宮遺跡第28地点土坑8~10、ピット13



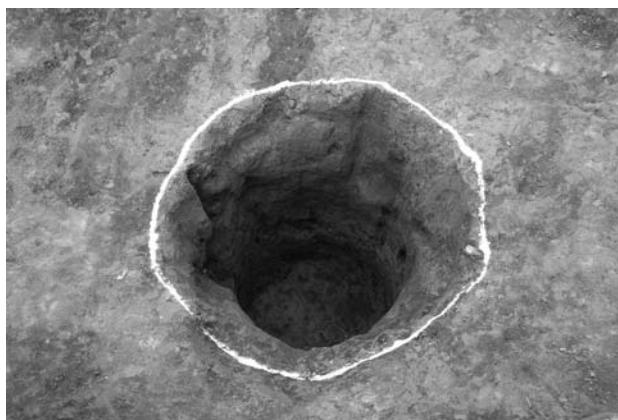
長宮遺跡第28地点本調査北側全景



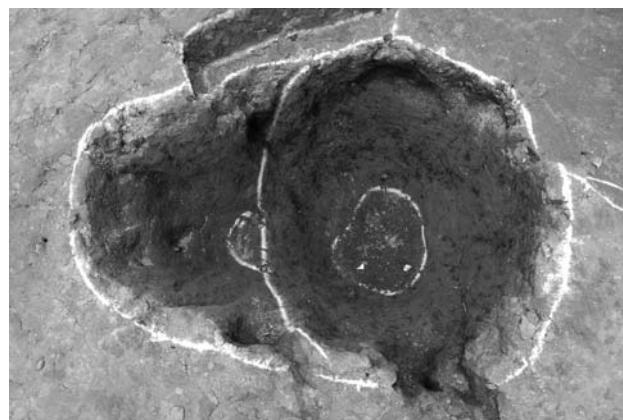
長宮遺跡第28地点井戸 1



長宮遺跡第28地点井戸 2・3



長宮遺跡第28地点井戸 4



長宮遺跡第28地点井戸 5

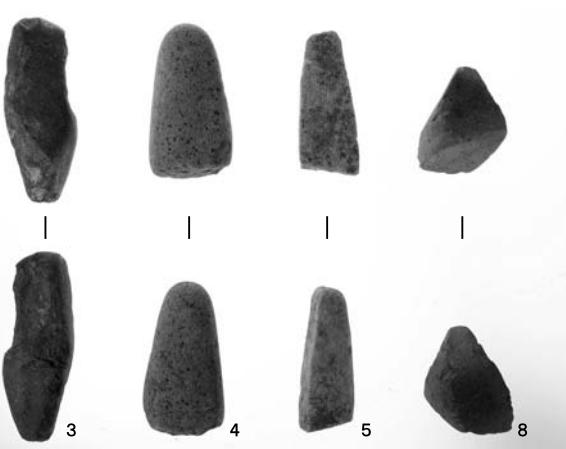
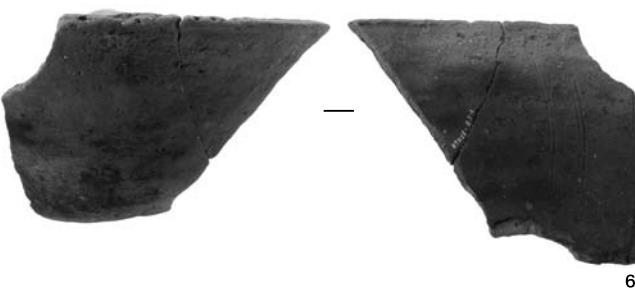
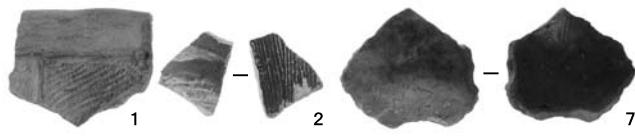


長宮遺跡第28地点本調査南側ピット群



長宮遺跡第28地点本調査北側全景

井戸1・3



長宮遺跡第28地点出土遺物No.1~8



長宮遺跡第28地点出土遺物No. 9

遺構外



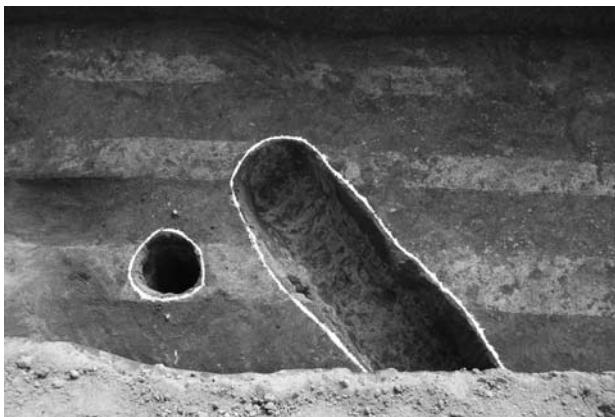
長宮遺跡第28地点出土遺物No.10・11



長宮遺跡第29地点試掘調査全景



長宮遺跡第29地点トレンチ1、溝4・5



長宮遺跡第29地点トレンチ1、溝3、ピット10



長宮遺跡第29地点トレンチ2、溝



長宮遺跡第29地点トレンチ3、溝、ピット4・5



長宮遺跡第29地点トレンチ3、堀